

避難情報の伝達

避難情報の種類

避難行動の目安となる河川水位の最新の情報は、国土交通省や埼玉県の「川の防災情報」から対象となる水位観測所を検索し、入手することができます。

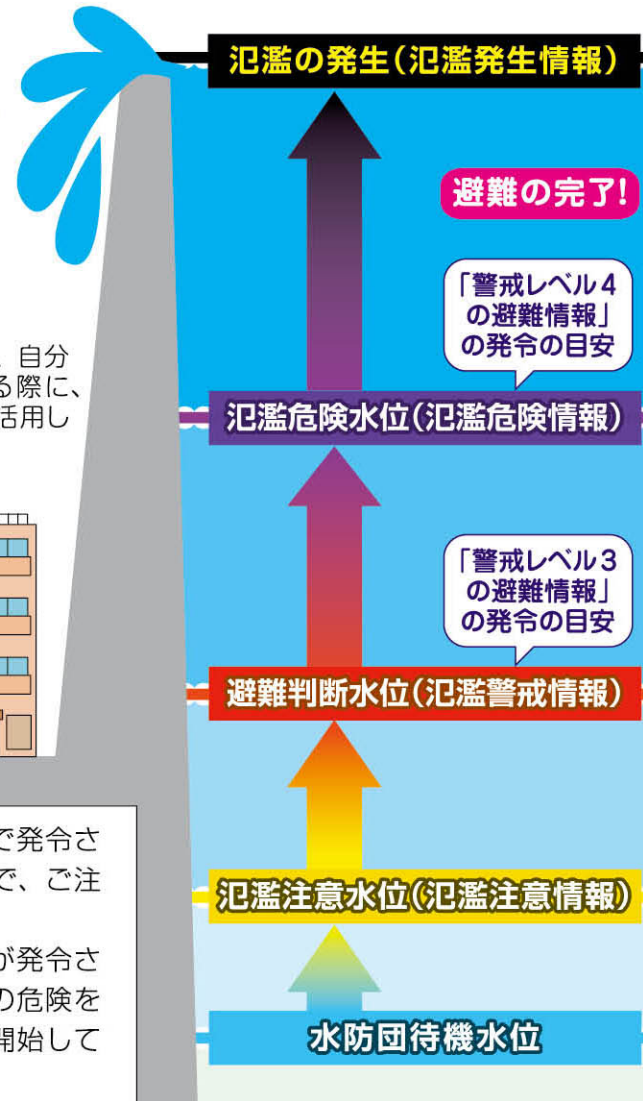
**「警戒レベル4で
全員避難」**

■マイ・タイムラインの活用

避難に必要な情報等を整理し、自分自身がとる防災行動をまとめる際に、さいたま市マイ・タイムラインを活用しましょう。



※必ずしも、この順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。
また、これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

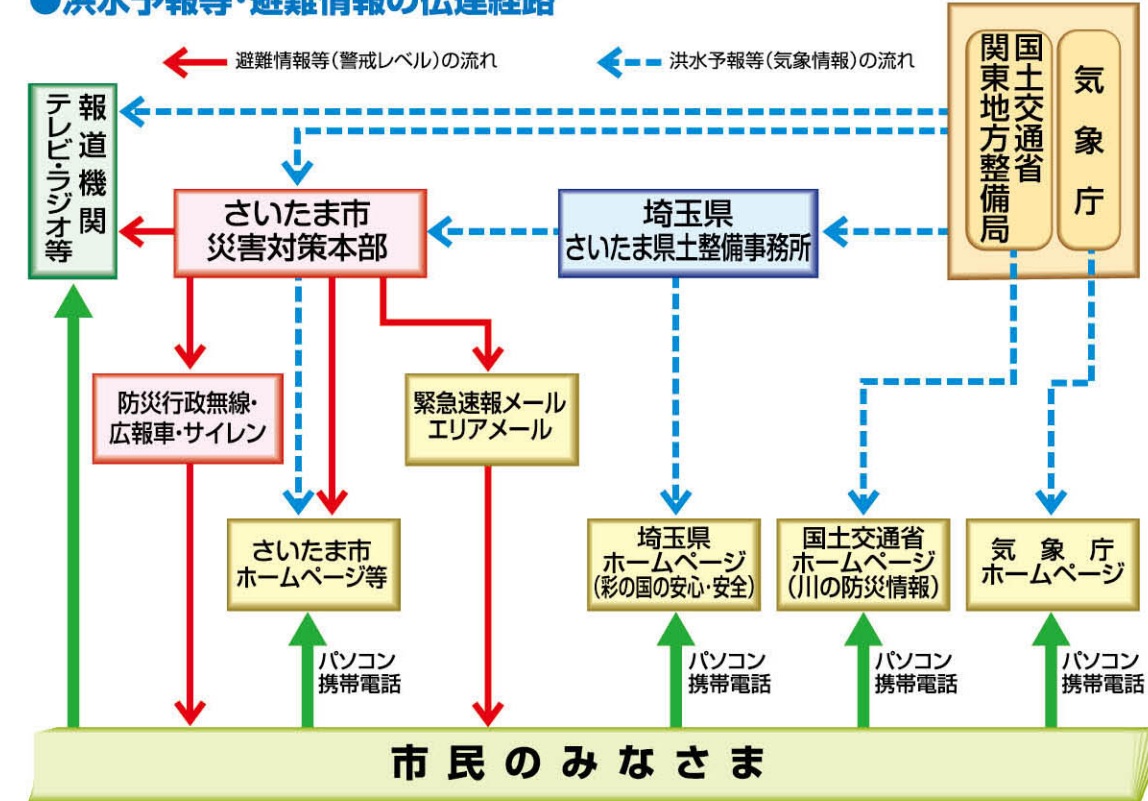


警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生 又は切迫	直ちに身の安全を確保しましょう。ただし、災害発生・切迫の状況で、本行動を安全にとることができるとは限らず、また本行動をとったとしても身の安全を確保できるとは限りません。	緊急 安全確保 ※必ず発令される情報ではありません。
~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~~			
4	災害のおそれ 高い	危険な場所から全員避難(浸水想定区域外への避難又は水が来ない上層階への避難)しましょう。	避難指示
3	災害のおそれ あり	避難を完了させるのに時間を要する高齢者・障害のある人などや、その支援者は危険な場所から避難しましょう。その他の人は、避難の準備をしましょう。なお、地域の状況に応じ、早めの避難が望ましい場所の居住者などは、自主的に避難しましょう。	高齢者等 避難
2	気象状況 悪化	気象状況が悪化してきているため、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。	大雨・洪水・ 高潮注意報 (気象庁発表)
1	今後 気象状況悪化 のおそれ	今後、気象状況悪化のおそれがあるため、最新の防災気象情報に注意するなど、災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁発表)

## 情報を収集して、冷静に判断しましょう

台風や集中豪雨はある程度予測できる災害です。情報をしっかり入手し、いざというときの確かな行動がとれるようにしましょう。気象、河川に係わる警報が発令されたときには、各報道機関の流す情報を積極的に収集しましょう。  
インターネット、ラジオ、テレビなどで、リアルタイムで正確な情報を入手することができますので、積極的に活用しましょう。市からの避難情報が発令されたときは、浸水のおそれがない安全な場所(浸水想定区域外)まで避難してください。

### ●洪水予報等・避難情報の伝達経路



### ■緊急速報メール・エリアメール【プッシュ型通知】

配信対象市町村内の携帯電話(NTTドコモ、KDDI・沖縄セルラー(au)、ソフトバンク、楽天モバイル)のユーザーは市が配信する避難情報を自動で受信できます。